

探求

二人間すなわち精神は再生する。不滅の靈魂は、聖火の如きものであり、肉体はその火の上に建られた家のように組み立てられる。細胞によってつくられたこの家は、生命の力によって互いに結合しているが、一定の時期がくると朽ち果てて土に帰る。だが聖火は消えることなく、新しい人によって細胞を結び合わせる。聖火すなわち靈魂は「聖なる本源」に呼び寄せられるまで、このようにして家すなわち肉体を替えていくのである」

「聖なる靈感の書」

西洋文明の安全と存続はカルマの思想と人衆の思想の中へ復活する事にかかっている。ボルグランドン（二八九八）

「聖なる靈感の書」

思想あるは言葉だがたは行為で誰かと傷つけた者は律法の債務者として裁かれ、誰も誰かの人と同じように思想で言葉で、或は行為で彼と傷つけたらば、キリスト

空瓶宮福音書

人間とは何か！

人間は肉体でもなければ魂でもない。人間は霊であつて神の一部である創造的の命令は人間即ち霊なる人間が魂の段階で傷つけた魂と下と、表現されるもの段階で傷つけたらば肉体と下と。人間はその故の自我即ち肉の自我と満足させるためにその生得値とすくすくした。人間は肉の段階と魂の段階で試練、誘惑とて霊なる人間と神と一つになる。空瓶宮福音書

身体が健康でありたいと共う前提条件として人の行為は無私的は利己的ではない愛により動機づけられていること積極的に忍耐強く、明白く結果は神にまかせ

ジナ・ブリーニナ

主君は人間関係を偶然の結果生じさせるものではない。あつた行為、無関心、怠慢、命令のばよもくに対する軽視と乱用に対して責任と負あはれる。

G. S.

仲間ともういかにそれだけの価値ともたなくてはならぬ。愛と得た心には愛と下とはくはならぬ。

一 権度に発達した知能——いちど目にふれ、いちど耳にしたことは、せつたいに忘れることのない記憶力。どのように複雑な構造でも組織でも、瞬間的に分析し、推理し、理解して、本質を把握してしまふ演算と帰納の力。コトバという間接思考を経ない純粹思考から発する超飛躍的な創造力。それは、ヒトの平均知能を一〇とするならば、おそらく、二・五から三・五に達するである。このグループの最高の頭脳は、やすやすと四次元を理解する。

二 感覚器官の増幅——彼は、不可視光線（赤外線、紫外線）を見ることができ、超音波を聞くことができる。その異常感覚と高度の知能の結合からくる予知力。それらは、自分の肉体を思うままに統御する能力からくる。

三 環境の制御と創造——思うままに自分を変え、他人を動かし、集団や環境を、自分の理念の通り

まだその動物学的進化の段階を克服しきれないでいる人類たちが、未来において彼らを守っている無限の楽しみ、完璧な力、自然にえられる知識の明らかな広がり、人類の幅ひろい平和のいかなるものがあるかを、たとえわずかでもかいま見たならば、彼らはすべてをさしおいて、それらの宝を手に入れたらどう。

「聖なる生命」
スリ・オーロピンド

怒りよかせて友の生命を奪うはれ隣人の所有するものと欲するはれ隣人は人に親切はるとは、は人にまはるものこととせよ、不親切はるとは、そのものこととせよ、ふたが合はなれ

われを創りたるものは、それを奪うなれ。はへにより殺物と借り、不作のたの返済でよめとよは、その負債とは消し去るべし。われは、はへへのわれ、負債とは消し去らん。

神聖なる仕打を受けようとも復讐口ととくうてはなれ。われは、はへに代り復讐せん。

今奥と嘆きりろ、うとはなれ。よ、二とク、六と、そり深しと音かとしるたの教訓と心得るべし。

宇宙神タミールの教訓

彼我の生命の対抗という事態に立ち場合、兄弟を殺すより先に私だらうかか自滅しなす。

スヘン・ブリーニナ

奉仕と相互の幸福と宇宙的動機。死に耐え、恐怖はありませぬ。自身

は聖明的存在で、因体、ははれ、秀とてい、愛が表現す、因体と故と見、破壊する、こは絶体にはせん。

スヘン・ブリーニナ

四 物質を超え、物質を自由に統御する力。

五 無限に発達した道德意識。